大阪ガス株式会社

お問い合わせ先

別添　大阪ガスのお問い合わせ先をご参照願います。

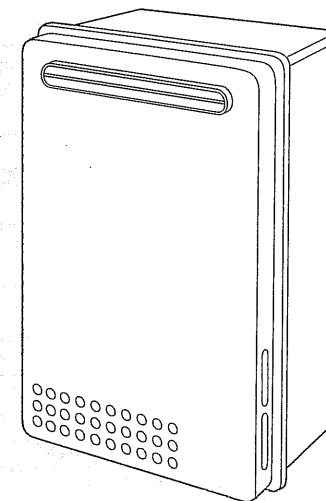
おねがい ガスくさいときは、ガス栓を閉め窓を全開にして(火気に注意して)、大阪ガスにご連絡ください。

◈この取扱説明書は再生紙を使用しています◈

ガス給湯器

133-0090/0092/0095型
133-4120/4122/4125型
133-4130/4132/4135型

<BL認定品>　　型式名　YS2456R
YS2456RT
YS2456RM

YS1656R
YS1656RT
YS1656RM

(133-0090型)

(台所リモコン)　(浴室リモコン別売品)

もくじ

取扱説明書

大阪ガス

このたびは大阪ガスのガス給湯器をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
・この説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。なお、ご不明な点があればお買い上げの販売店にお問い合わせください。
・別添の保証書の内容もよくお読みいただき、必ずお買い上げ日・販売店名等の記入を確かめてください。
・この説明書はいつでもご覧になれるところに保管してください。

SAQ8701③

SAQ8701 T

必ずお守りください(安全上の注意)-1

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

■ 危害・損害の程度による内容の区分

区分	内容
⚠危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

■ 注意・禁止内容の絵表示

感電注意	高温注意	必ずおこなう	アース必要
禁止	火気禁止	接触禁止	ぬれ手禁止

⚠危険

屋内に設置しない

一酸化炭素中毒の原因になります。

⚠警告

ガス漏れに気づいたときは、

1. すぐに使用をやめる
2. ガス栓を閉める
3. 販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する

ガス漏れ時は、絶対に

- 火をつけない
- 電気器具のスイッチの入・切をしない
- 電源プラグの抜き差しをしない
- 周辺の電話も使用しない

火や火花で引火し、火災の原因になります。

シャワー使用時は、手で湯温を確認してから使用する

入浴時も、浴そうの湯温を手で確認してから入浴する

やけど予防のため。

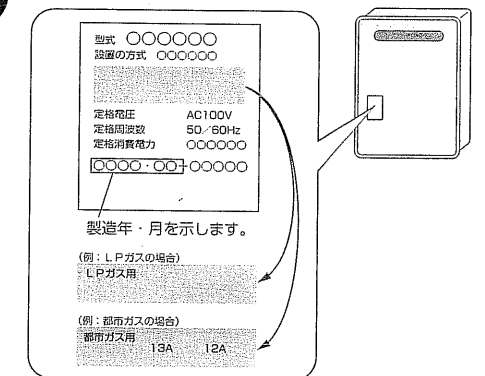
シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない、運転「切」にしない

高温に変更されたときのやけど防止のため。
また、低温に変更されたり運転「切」にされると、冷水になって使用者がびっくりする原因になります。

異常燃焼・異常臭気を感じたときや、地震・火災などの緊急時は、次の手順に従う

1. 給湯栓を閉める
2. 【リモコンがある場合】
   運転スイッチを「切」にする
3. ガス栓・給水元栓を閉める
4. 販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する

火災・感電・故障などの予防のため。

必ず銘板に表示のガスで使用する

表示以外のガス・電源を使用すると、異常燃焼し、火災や感電の原因になります。
わからない場合は、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

子供を浴室内で遊ばせない
子供だけで入浴させない

思わぬ事故の原因になります。

機器の設置・移動および付帯工事は、販売店に依頼する

安全に使用していただくため。

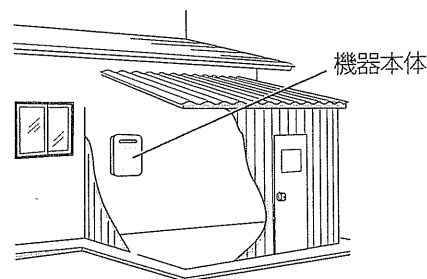
修理技術者以外は修理・分解・改造をしない

火災や故障の原因になります。

(つづく)

必ずお守りください(安全上の注意)-2

(つづき)

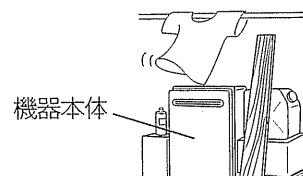
増改築などで屋内状態にしない(波板囲いなどをしない)

一酸化炭素中毒・火災の原因になります。

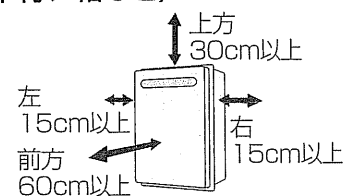
スプレー缶を、機器本体や排気口のまわりに置かない、使用しない

熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発・火災の原因になります。

灯油、ガソリン、ベンジンなど、引火のおそれのある物を機器のまわりで使用しない

火災の原因になります。

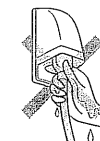
燃えやすい物をまわりに置かない(洗濯物、新聞紙、灯油など)

火災の原因になります。

燃えやすい物とは離す(樹木、木材、箱など)

火災予防のため。

⚠注意

必ずアースする

機器が故障した場合、感電の原因になります。

電源プラグはぬれた手でさわらない

感電の原因になります。

電源コード、電源プラグの破損・加工をしない

束ねたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、物を乗せたり、衝撃を与えたりして無理な力を加えない。傷つけない。 加工しない。

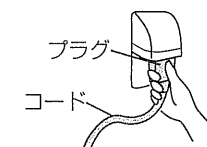
感電、ショート、火災の原因になります。

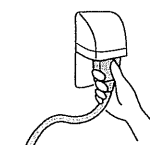
電源プラグのほこりはときどき取る

ほこりがたまると、発火の原因になります。

使用中や使用後しばらくは、排気口付近に触れない

やけど予防のため。

電源プラグは、コードを持たずにプラグを持って抜く

コードを持って抜くと、コードが破損し、発熱、火災、感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不充分だと、感電や火災の原因になります。

給湯、シャワー、お湯はり以外の用途には使用しない

思わぬ事故を予防するため。

太陽熱温水器との接続注意

太陽熱温水器との接続は可能ですが、高温のお湯が出るなど、やけど防止のため、混合水栓が付いていることを確認してください。

乾電池に関する注意(お願い)

機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処置を依頼してください。
もしお客様で旧機器の処置をされる場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処置をしてください。

必ずお守りください(安全上の注意)-3

お願い

機器や配管に長時間たまった水や、朝一番のお湯は飲まない、調理に使用しない

雑用水として使用してください。

業務用のような使いかたをしない

製品の寿命を短くします。
業務用のような使いかたをした場合の修理は、保証期間内でも有料になります。

水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しない

給湯栓の先端に泡沫水栓が内蔵されているものは、ときどきフィルター(金網)を掃除する

わからない場合は、販売店または、もよりの大阪ガスに確認してください。

機器のまわりはきれいにしておく

まわりが雑草、木くず、箱などで雑然としていると、機器の内部にゴキブリが侵入したりクモの巣がはったりして、機器の損傷や火災の原因になることがあります。

停電後(または電源プラグを抜いたあと)は、設定した現在時刻を確認する

停電すると運転が停止し、また設定した現在時刻がリセットする場合があります。

排気ガスが直接建物の外壁や窓、アルミサッシ(網入りガラスなど)に当たらないように設置する(増改築時注意)

ガラスが割れたり変色する原因になります。

温泉水や自家用井戸水で使わない

水質によっては、機器内の配管内部に異物が付着するなど耐久性を損なう場合があります。

使用時の点火、使用後の消火を確認する

ガス事故防止のため。

この機器の純正部品以外は使用しない

思わぬ事故の原因になります。

リモコンを分解しない

故障や、思わぬ事故の原因になります。

リモコンの掃除には、ベンジンや油脂系の洗剤を使用しない

変形する場合があります。

浴室リモコンに故意に水をかけない

防水型ですが、多量の水は故障の原因になります。

台所リモコンに、水しぶきをかけない、蒸気を当てない

炊飯器、電気ポットなどに注意。
故障の原因になります。

運転スイッチ「切」時にはお湯側から水を出さない

お湯を出すときには、運転スイッチ「入」を確認してください。
運転スイッチ「切」時にお湯側から水を出すと熱交換器内に結露現象が発生し、不完全燃焼の原因になったり、電気部品の損傷の原因になります。
シングルレバー混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください。

浴そう、洗面台はこまめに掃除する

湯アカが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと、せっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、青く変色することがあります。

冬期は、凍結予防処置をする(☞P19,20)

凍結すると、水漏れや故障の原因になります。

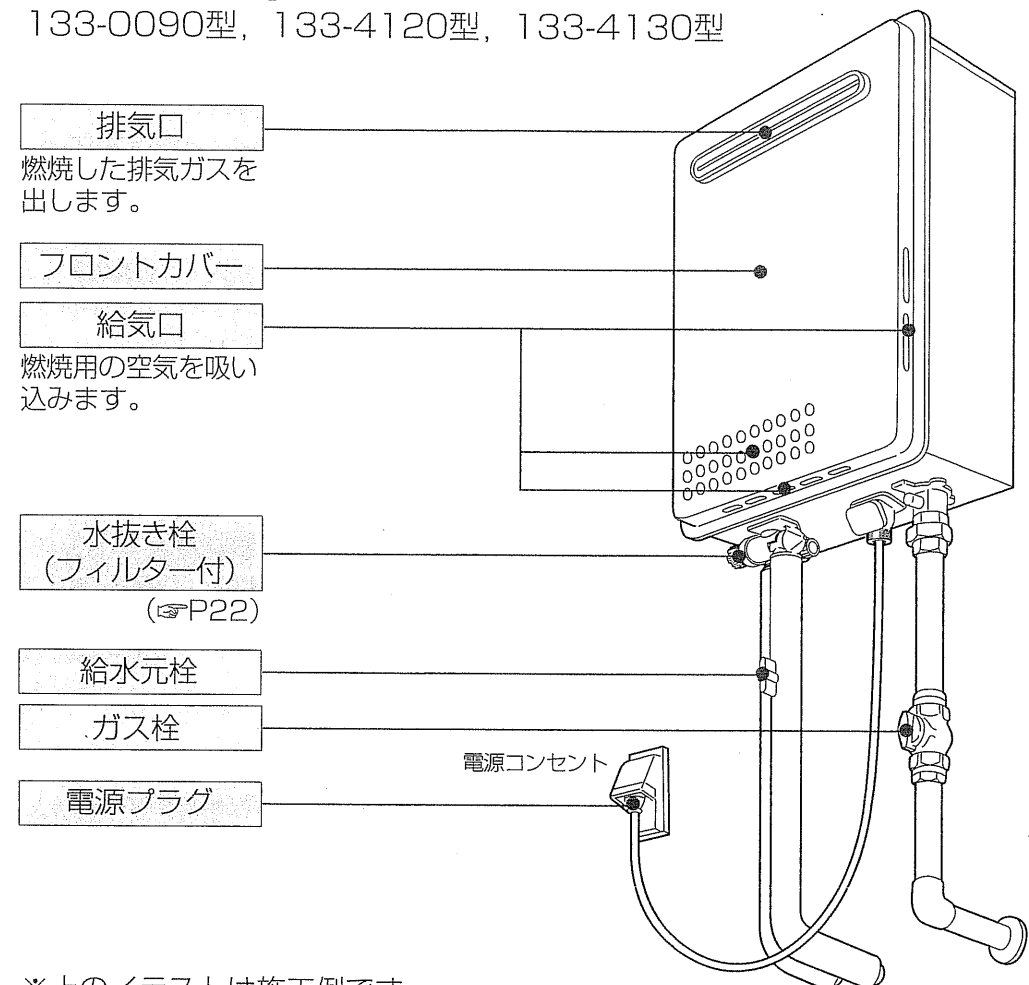
長期間使用しない場合、必要な処置をする (☞P20)

凍結および万が一のガス漏れを防止するため。

積雪時には給気口、排気口の点検、除雪をする

雪により給気口、排気口がふさがれると不完全燃焼し、機器の故障の原因になることがあります。

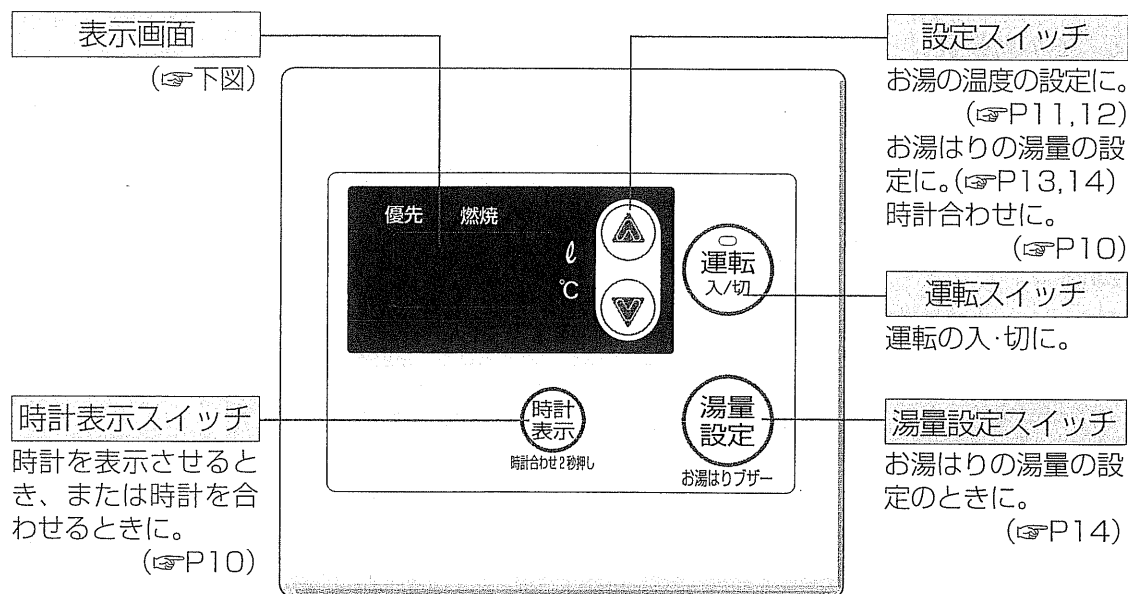
各部のなまえとはたらき(機器本体)

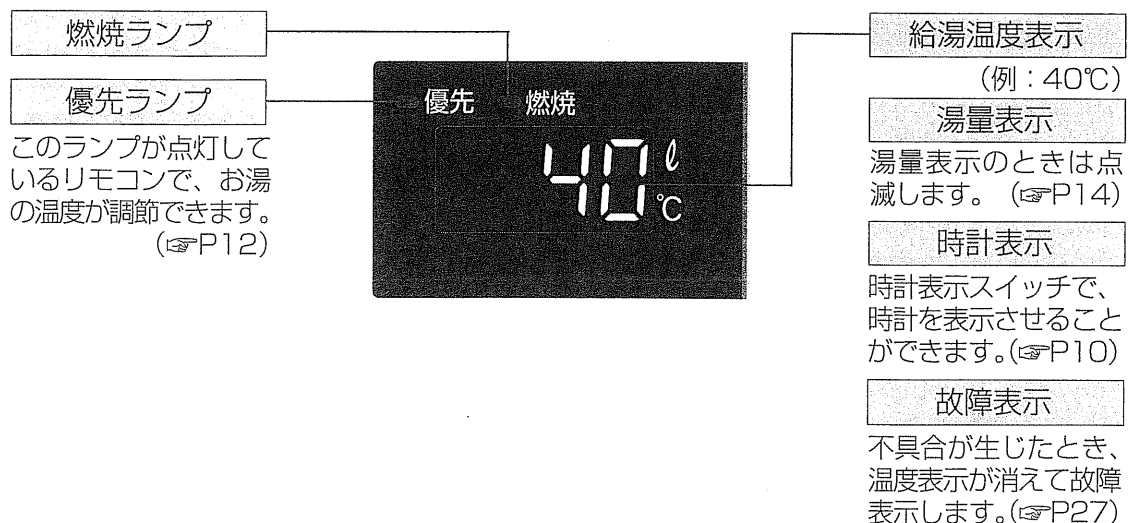
【屋外設置壁掛形】
133-0090型, 133-4120型, 133-4130型

※上のイラストは施工例です。
配管の形状、給水元栓・ガス栓・電源コンセントの位置など実際と異なります。

	PS設置前方排気形	PS設置後方排気形
屋外設置形	133-0092型 133-4122型 133-4132型	133-0095型 133-4125型 133-4135型

各部のなまえとはたらき(リモコン)

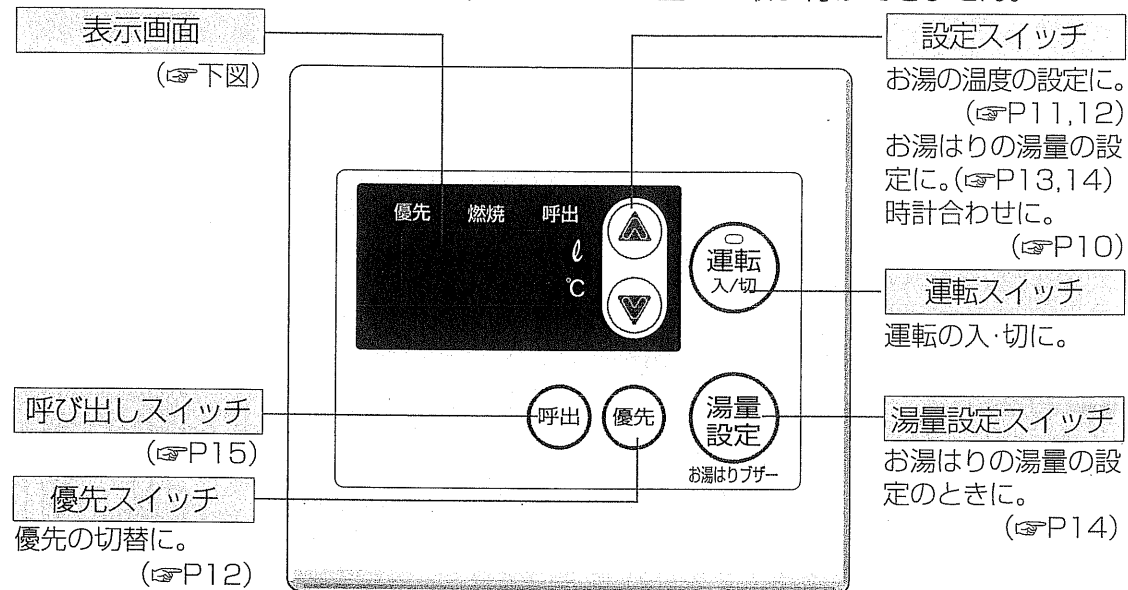
台所リモコン

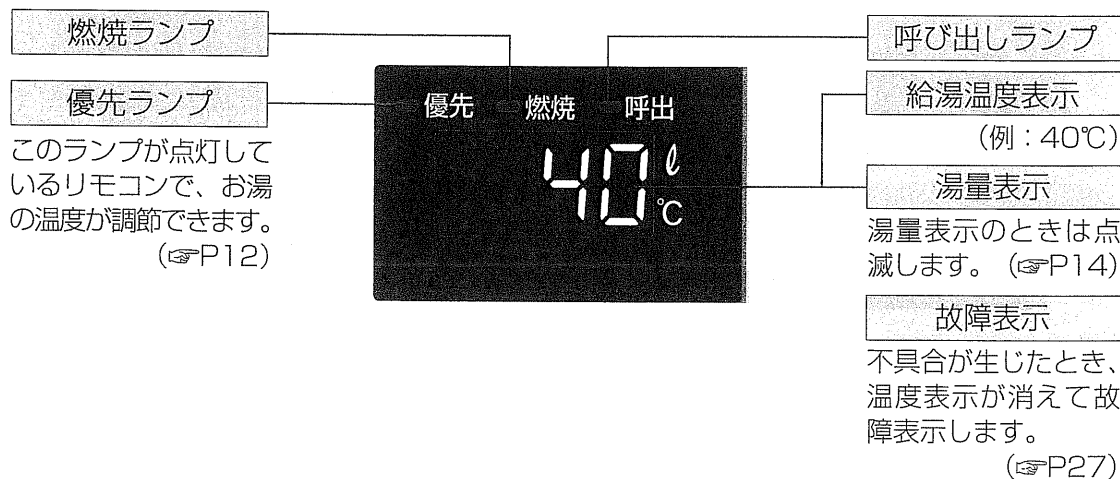
(台所などに取り付けます)
※133-4130型，133-4132型，133-4135型には取り付けできません。

表示画面

下記の表示画面は説明のため、すべて表示したものです。
実際の運転の時は、該当部分を表示します。

※ご使用になる前に、リモコン表面の保護シートを取り外してください。

その他の別売品リモコンをお使いの場合は、それぞれの取扱説明書をごらんください。

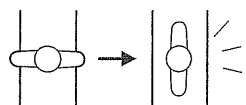
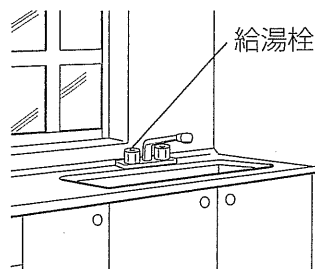
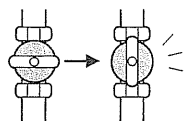
浴室リモコン(138-0043型)<別売品>

(浴室に取り付けます)
※133-4130型，133-4132型，133-4135型には取り付けできません。

表示画面

下記の表示画面は説明のため、すべて表示したものです。
実際の運転の時は、該当部分を表示します。

※ご使用になる前に、リモコン表面の保護シートを取り外してください。

その他の別売品リモコンをお使いの場合は、それぞれの取扱説明書をごらんください。

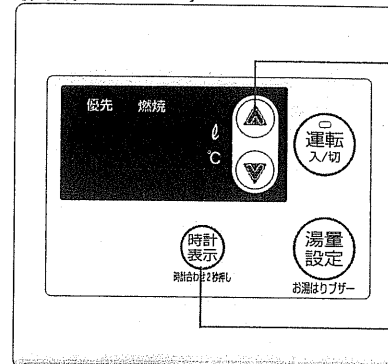
初めてお使いになるときは

初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

1～4の手順でおこなってください。

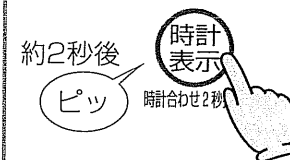
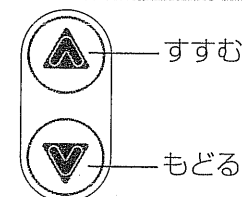
（例：133-0090型）

使いかた（リモコンがある場合）

時計を合わせる・時計を表示させる（台所リモコンがある場合）

（台所リモコン）

運転スイッチの「入・切」に関係なく、時計合わせや時計表示ができます。（イラストは「切」の状態です）

時計を合わせる

1 時計表示スイッチを約２秒押す（PM 0:00が点滅するまで）

2 時計を合わせる

一度押す毎に１分ずつ、押し続けると10分ずつ変わります。

例：「午前10時15分」のとき

3 時計表示スイッチを押す

点滅から点灯に変わり、時計が動き出します。

点滅

時計を表示させる

時計表示スイッチを押してください。
もう一度押すと、表示が消えます。

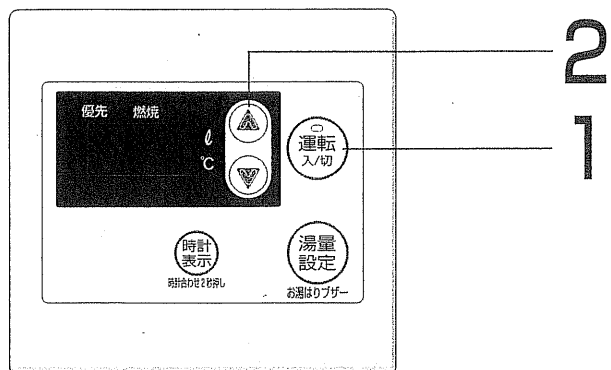
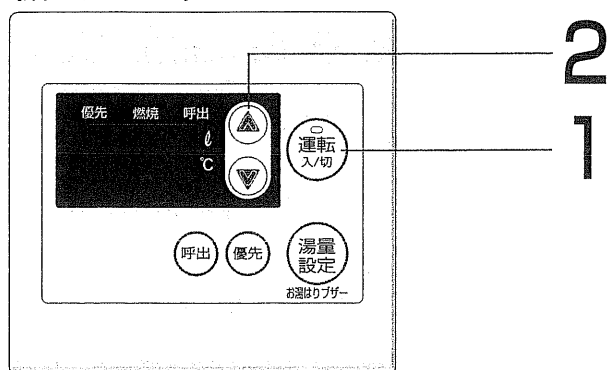
- 時計表示中に、お湯を使用したりお湯の温度を変更したりすると、時計表示は消えます。
- お湯の使用中や、60℃の高温設定時に時計表示スイッチを押した場合は、10秒間時計表示し、その後、元の画面表示に戻ります。
- 停電後または電源プラグを抜いたあと、再通電すると PM 0:00 に表示が変わりますので、時計合わせをしなおしてください。
- 時計表示をしているときは、表示の節電はしません。

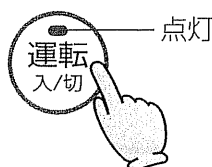
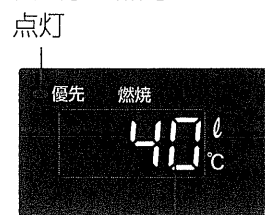
使いかた(リモコンがある場合)

お湯を出す/お湯の温度を調節する

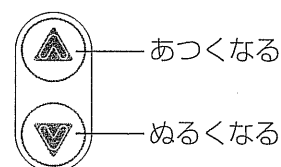
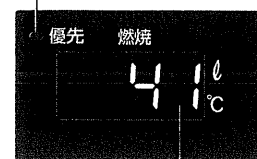
(台所リモコン)

ここでは台所リモコンでご説明します

2
1

(浴室リモコン)

<運転スイッチ「切」のとき>

1 運転スイッチを「入」にする

温度表示が点灯します。

前回に設定した温度
(例:40℃)

<一度設定すると記憶します>

2 温度を調節する (変更しないときは温度を確認する)

点灯確認

お湯の温度

3 給湯栓を開ける

点灯

4 給湯栓を閉める

きっちりネ!

消灯

お湯の温度の目安

(℃:目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。)

32	35	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	60
食器洗いなど				シャワー、給湯など					給湯など					高温

※初期設定(工場出荷時)=40℃

〈故障ではありません〉

* 低温(食器洗いなど)に設定したときは、水温が高い場合、お湯の温度が設定温度よりも高くなる場合があります。
* 給湯栓を開けた直後は、湯温を安定させるため、一定時間湯量が少なくなることがあります。(☞P24)

温度調節ができない場合は、以下の操作をしてください<*優先切替*>(設定温度は例です)

(浴室リモコンがある場合)

	湯温調節できない状態 →	優先切替する →		湯温調節できる状態
浴室リモコン	点灯していない (優先 燃焼 呼出 40℃)	優先スイッチを押す (優先)		点灯 (優先 燃焼 呼出 42℃)
台所リモコン	点灯していない (優先 燃焼 42℃)	運転スイッチを「切」(消灯)にして (運転 入/切 消灯)	再度「入」(点灯)にする (運転 入/切 点灯)	点灯 (優先 燃焼 41℃)

※お湯はり中にこの操作をしないでください。

⚠警告

高温注意

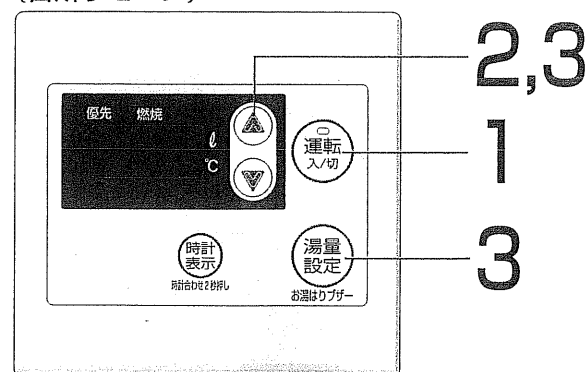
やけど予防のために

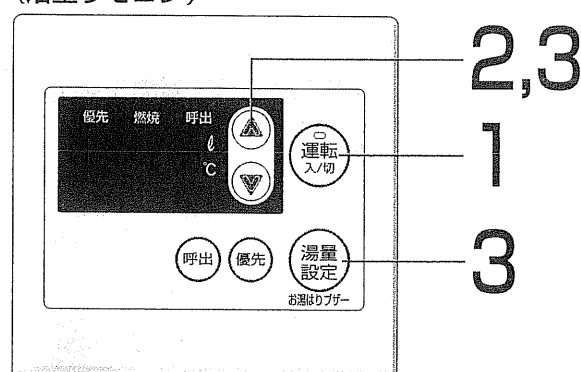
- シャワーを使用するときは、いきなり体や顔にかけず、リモコンの給湯温度表示を確認し、手でお湯の温度を確認してから使用してください。
- 60℃に設定したときは、温度表示が点滅(約10秒)後、点灯して、高温が出ることをお知らせします。
- 表示の温度をよく確かめてから使用してください。
  60℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。
- シャワーなどお湯を使用中のとき、他の人はお湯の温度を変更しないでください。
- シャワーなどお湯を使用中のとき、他の人は《優先》を切り替えないでください。切り替えたほうの前回設定した温度に変わります。

約10秒間 点滅→点灯

<リモコン表示画面>

使いかた（リモコンがある場合）

おふろのお湯はりをする

（台所リモコン）

（浴室リモコン）

（ここでは台所リモコンでご説明します）

運転前の準備

1. 浴そうの排水栓を閉める。
2. 浴そうのふたをする。（給湯栓の蛇口の部分は開けておく）

<運転スイッチ「切」のとき>

1 運転スイッチを押す

点灯

優先　燃焼　40 ℓ ℃

前回に設定した温度（例：40℃）

<一度設定すると記憶します>

2 温度を調節する（変更しないときは温度を確認する）

点灯確認

お湯の温度

⚠警告 優先ランプのついているリモコンの給湯温度でお湯はりします

高温注意

浴室リモコンでお湯はり温度を設定しても、お湯はり中に台所リモコン側に優先を切り替えると、おふろも台所リモコンの給湯温度でお湯はりします。
台所リモコンで高温に設定している場合などは特に注意してください。

浴そうにお湯をはるとき、お湯の量を設定しておくと、その量になったときにリモコンのブザーが約10秒間鳴ってお知らせします。
（お湯は自動的には止まりません）

※初期設定（工場出荷時）は、180ℓの設定です。

お湯はり温度の目安

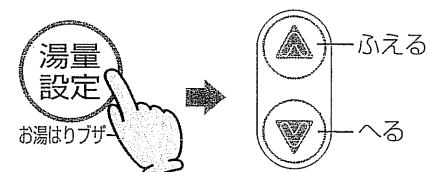
（℃：目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。）

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるめ			ふつう				あつめ				

※初期設定（工場出荷時）＝40℃

<一度設定すると記憶します>

3 湯量を調節する（変更しないときは湯量を確認する）

湯量設定スイッチを押し（湯量表示点滅）、設定スイッチで調節する。

40～260（20ℓきざみ）・300・350・400・990ℓの値で調節できます。
（目安の量）

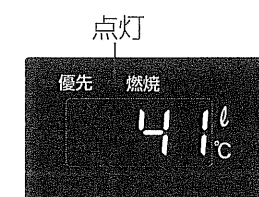
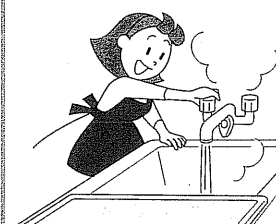
㊟ 990ℓの場合、ブザーは鳴りません。

お湯はりの湯量　点滅（例：180ℓ）

※点滅中に調節できます。
※10秒後、温度表示に変わります。

4 給湯栓を開ける

点灯

優先　燃焼　41 ℓ ℃

※サーモ付混合水栓の場合は、水栓側の温度設定を最も高温にしてください。

5 ブザーが鳴ったら給湯栓を閉める

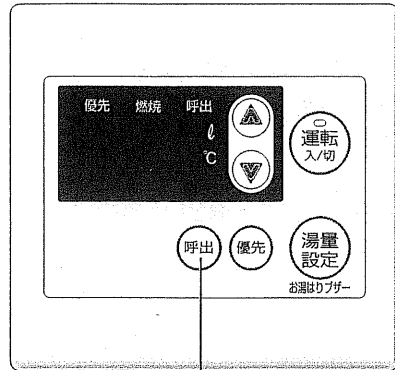
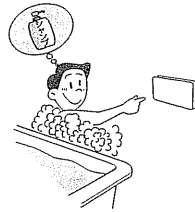
ブザー（ピッピッ音）が鳴ったら設定量をお湯はりしました。お湯を止めてください。

㊟ 990ℓの場合、ブザーは鳴りません。

消灯

- 浴室リモコン・台所リモコンのどちらに優先があっても関係なく、湯量の設定ができます。
- お湯はり中に台所・他でお湯を使用すると、使用した分だけお湯はりの量が少なくなります。
- 残り湯（水）がある場合や、お湯はりを中断して再度お湯はりをする場合、浴そうに残っている湯（水）の量だけ、設定したお湯はりの湯量より多くなります。
- 前日などの残り湯（水）があるときは、その分だけ設定した温度よりぬるくなります。
- お湯はりをしていなくても、台所・他で設定した湯量まで連続してお湯を使用すると、お湯はりブザーが鳴ります。

使いかた（リモコンがある場合）
浴室から台所リモコンのブザーを鳴らす（浴室リモコンがある場合）

（浴室リモコン）

浴室にいるときに、何か必要な物があったり気分が悪くなって人を呼びたいとき、呼び出しスイッチで知らせることができます。（インターホンではないので話せません）

呼び出しスイッチを 押す

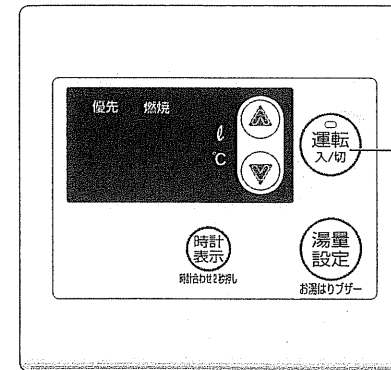
ブザーで呼び出します。（呼び出しランプ 点灯）

押し続けると、手を離すまでブザーをくりかえします。

●呼び出しスイッチは運転スイッチの「入・切」に関係なく使用できます。
●台所リモコンがない場合は、浴室リモコンでのみ呼び出し音が鳴ります。

使いかた（リモコンがある場合）
操作確認音の消しかた、鳴らしかた

各リモコンで個別に設定できますが、ここでは台所リモコンでご説明します

（台所リモコン）

リモコンは各スイッチを押したとき、正常に動作すると「ピッ」という音がします。
お好みにより、この音を鳴らないようにしたり、鳴るようにしたりできます。
（お買い上げ時は、鳴るように設定しています）

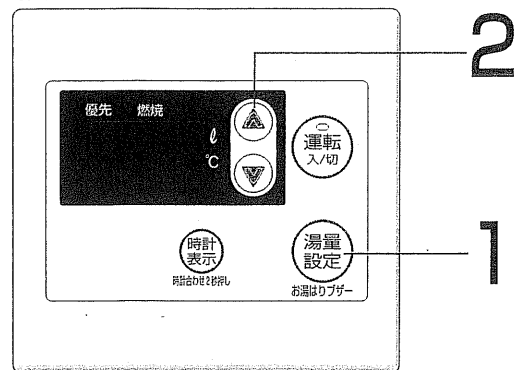
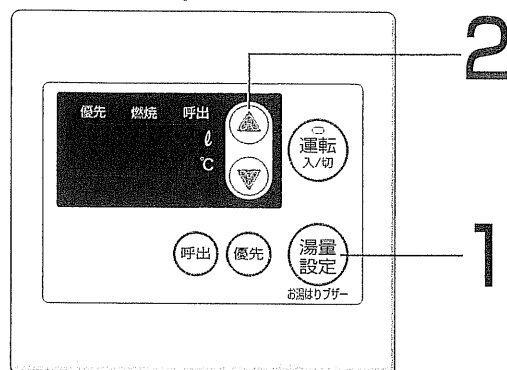
運転「切」の状態で 運転スイッチを約５秒間押す

操作確認音を鳴らすようにするときは、約5秒後に「ピッ」と音がします。
操作確認音を消すときは、音はしません。

●呼び出しブザーおよびお湯はりブザーは、操作確認音を消しても鳴ります。

使いかた(リモコンがある場合)

表示の節電を切り替える

(台所リモコン)

(浴室リモコン)

無駄な電力消費を防ぐため、機器を使用しないまま約10分たつと表示画面が消えます。
(運転ランプのみ点灯)
再使用したり、いずれかのスイッチを押すと再び表示します。

(それぞれのリモコンで設定してください)

1 運転「切」の状態で、湯量設定スイッチを約2秒間押す

《on》が点滅します。

2 設定スイッチで変更する

□=初期設定(工場出荷時)

する※	無駄な電力消費を防ぐため、機器を使用しないまま約10分たつと表示画面が消えます。(運転ランプのみ点灯) 再使用したり、いずれかのスイッチを押すと再び表示します。 on ー点滅
しない	運転「入」の状態ならば、画面表示は消えません。 oF ー点滅

※製品によっては「しない」になる場合もあります。

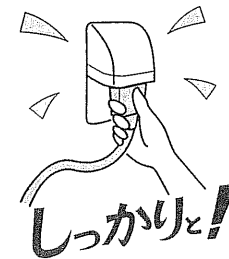
3 そのまま放置する

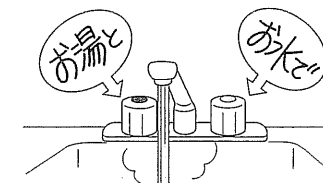
そのまま約30秒放置しておくと、運転「切」の状態に戻ります。
そのまま機器を使用する場合は、運転スイッチを押して「入」にしてください。

使いかた(リモコンがない場合)

お湯を出す/お湯の温度を調節する

お湯の温度は、約60℃の高温(固定)になります。混合水栓でお湯と水を混合してお使いください。

1 電源プラグをコンセントに差し込んでいるか確認する

2 給湯栓を開ける

3 お湯の温度を調節する

4 使用後は給湯栓を閉める

通常電源プラグは差し込んだままで、抜く必要はありません。

⚠警告 やけど予防のために

高温注意

シャワーなどお湯を使用するときは、いきなり体や顔にかけず、手でお湯の温度を確認してから使用してください。

凍結による破損を予防する

お願い

＊暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、以下をお読みいただき、必ず必要な処置をしてください。
＊凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料修理になります。

機器内は凍結予防ヒーターで自動的に凍結予防します

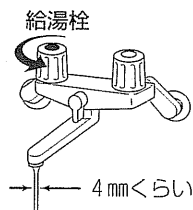
■**電源プラグを抜くと作動しないため、電源プラグは抜かない。**
（＜リモコンがある場合＞運転スイッチ「入・切」に関係なく作動します。）

＊給水・給湯配管や、給水元栓などの凍結は予防できません。必ず保温材または電気ヒータを巻くなどの地域に応じた処置をしてください。（わからないときは、販売店に確認してください。）

■**＜リモコンがある場合＞冷え込みが厳しいとき※は、さらに以下の処置をする。**
（※外気温が極端に低くなる日(-15℃以下)や、それ以上の気温でも風のある日）

機器だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓なども同時に凍結予防できます。

1. 運転スイッチを「切」にする。
2. ガス栓を閉める。
3. おふろの給湯栓を開いて、少量の水(1分間に約400cc･･･太さ約4㎜)を流したままにしておく。
   ※サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、最高温度の位置に設定してください。
4. 流量が不安定になることがあるので、約30分後に再度流れる量を確認する。
   ※結露現象予防として、運転スイッチ「切」の状態で給湯栓から水を出さないようにお願いしていますが(☞P5)、凍結予防の処置の場合は問題ありません。

給湯栓
4㎜くらい

＊おふろのお湯はりを解除せずに放置すると、凍結する場合があります。
リモコンの表示にしたがって操作し、お湯はりを解除してください。
＊サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、再使用時の温度設定にご注意ください。
やけど予防のため。
＊この処置をしても凍結するおそれのある場合には、次ページの要領で水抜きをおこなってください。

＜リモコンがある場合＞凍結して水が出ないとき

1. ガス栓・給水元栓を閉める。
2. 運転スイッチを「切」にし、給湯栓を開ける。
3. ときどき給水元栓を開け、水が出ることを確認する。
4. 水が出るようになっても、機器や配管から水漏れがないかよく確認の上使用してください。

凍結した場合は、そのままでは絶対に使用しないでください。機器の故障の原因となります。

長期間使用しないときは、水抜きをしてください

以下の要領で水抜きをしてください。

⚠注意

お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷えてからおこなってください。
やけど予防のため。

水抜き栓などからお湯または水が約700ccでますので、機器の下に容器などを置いて排水を受けてください。

1 ガス栓を閉める。

2 ＜リモコンがある場合＞運転を「切」にする。
＜リモコンがない場合＞いずれかの給湯栓を全開にする。

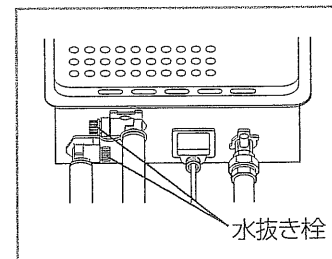
3 ＜リモコンがある場合＞電源プラグを抜く。
＜リモコンがない場合＞2の操作より20秒以上経過後、電源プラグを抜く。

ぬれた手でさわらない

4 給水元栓を閉める。

5 すべての給湯栓を全開にする。

6 水抜き栓(2ヶ所)を左に回して開け、外す。

7 6の操作より10分以上経過後、完全に排水したことを確認し、水抜き栓(2ヶ所)、およびすべての給湯栓を閉める。

再使用のとき

1. 水抜き栓(2ヶ所)が閉まっていることを確認する。
2. すべての給湯栓が閉まっていることを確認する。
3. P9「初めてお使いになるときは」の手順にしたがってください。

日常の点検・お手入れのしかた

⚠注意

高温注意

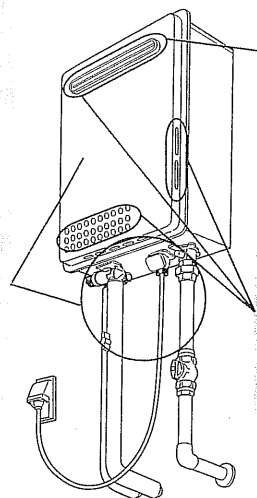
点検・お手入れは、リモコンの運転「切」または、電源プラグを抜いておこなってください。
お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷えてからおこなってください。
やけど予防のため。

点　検（月1回程度）

チェック **機器や排気口のまわりに洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など、燃えやすいものを置いていないか？**

➡ 燃えやすいものを置かない。(☞P3)

チェック **＊機器の外観に異常な変色や傷はないか？**
＊運転中に機器から異常音が聞こえないか？
＊機器・配管から水漏れはないか？

➡ 現象があった場合は、販売店または、もよりの大阪ガスへご連絡ください。

(例：133-0090型)

チェック **排気口にススがついていないか？**

➡ ついていたら、販売店または、もよりの大阪ガスへご連絡ください。

チェック **排気口・給気口がほこりなどでふさがっていないか？**

➡ ふさがっている場合は、掃除する。

お手入れ（月1回程度）

機器本体

機器の外装の汚れは、ぬれた布で落としたあと、充分水気をふきとってください。
特に汚れのひどいときには、中性洗剤を使用してください。

リモコン

リモコンの表面が汚れたときは、湿った布でふいてください。

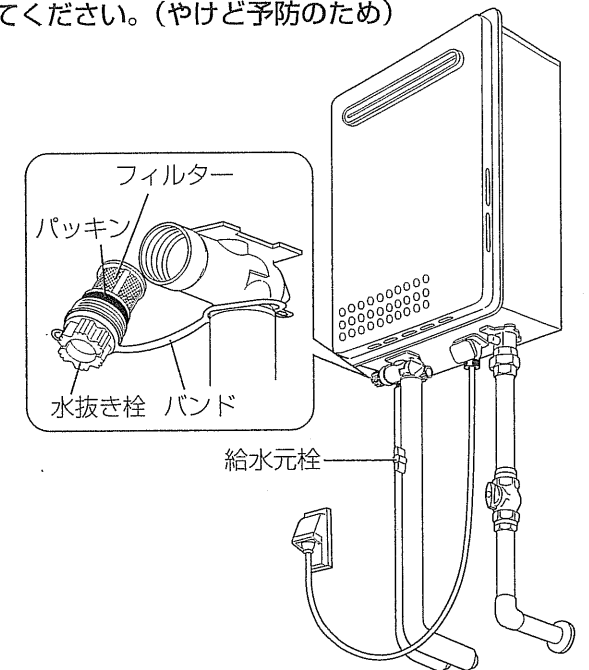
●リモコンの掃除にはベンジンや油脂系の洗剤を使用しないでください。
変形する場合があります。
●浴室リモコン・防水型増設リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。
(台所リモコン・増設リモコンは防水タイプではありません。)

お手入れ（月1回程度）

水抜き栓のフィルター

水抜き栓のフィルターにゴミ等が詰まると、お湯の出が悪くなったりお湯にならない場合がありますので、以下の方法で掃除をしてください。
※お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、リモコンの運転を「切」または、電源プラグを抜いて機器が冷えてからおこなってください。(やけど予防のため)

1．給水元栓を閉める。
2．すべての給湯栓を開ける。
3．水抜き栓を外す。(※1)
4．配管とつながっているバンドから外す。
5．フィルター部分を歯ブラシなどで水洗いする。(※2)
6．元どおりに水抜き栓を取り付ける。
7．すべての給湯栓を閉める。
8．給水元栓を開け、水抜き栓の周囲に水漏れがないことを確認する。

(※1)このとき水(湯)が出るので注意してください。
(※2)水抜き栓からフィルターが外れた場合は、水抜き栓とフィルターの間のパッキンをなくさないように注意してください。

(例：133-0090型)

＜定期点検のすすめ(有料)＞

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年一回程度の定期点検をおすすめします。販売店にご相談ください。

故障・異常かな？と思ったら-1

「温度」に関すること

給湯栓を開いても お湯が出ない	＊ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ ＊断水していませんか？ ＊給湯栓は充分開いていますか？ ＊ガスメータ(マイコンメータ)がガスをしゃ断していませんか？ ＊ＬＰガスの場合、ガスがなくなっていませんか？ ＊水抜き栓のフィルターにゴミなどが詰まっていませんか？(☞P22) ＊凍結していませんか？(☞P19) ＊運転スイッチは「切」になっていませんか？ ＊電源プラグが抜けていませんか？
給湯栓を開いても すぐお湯にならない	＊機器から給湯栓まで距離があるので、お湯が出てくるまで少し時間がかかります。
低温のお湯が出ない	＊ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ ＊(リモコンがある場合)給湯温度設定は適切ですか？(☞P11,12) ＊水温が高いときに低温のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなることがあります。 ＊少量のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなることがあります。
高温のお湯が出ない	＊ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ ＊(リモコンがある場合)給湯温度設定は適切ですか？(☞P11,12) ＊冬期など、水温が低いときに高温のお湯を多く出そうとすると、設定した温度(高温)のお湯が出ない場合があります。 給湯栓を少し閉じてお湯の量を少なくすれば、設定したお湯の温度になります。
給湯栓を絞ると水になった	＊給湯栓から流れるお湯の量が１分間に約3.5㍑以下になったとき消火します。 給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。
(リモコンがある場合) 給湯温度の調節ができない	＊浴室リモコンがある場合、操作しているリモコンに優先切替していますか？(☞P12)
設定したお湯はり温度に ならない	＊前日など残り湯(水)があるときは、その分だけ設定した温度よりぬるくなります。

「湯量」に関すること

給湯栓から出るお湯の量が 変化する	＊お湯を使用中、他の場所でお湯を使用すると、お湯の量が減る場合があり、水道の圧力や配管条件によっては、極端にお湯の量が減ったり、いったん止まる場合がありますが、しばらくすると安定します。 ＊給湯栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、出湯量が変化するものがあります。 ＊お湯の温度を安定させるため、お湯の出初めは少なく出し、安定するとお湯をたくさん出すように機器側で制御します。
お湯はりの量が 設定した湯量にならない	＊お湯はり中に台所・他でお湯を使用すると、使用した分だけお湯はりの量が少なくなります。 ＊残り湯(水)がある場合や、お湯はりを中断して再度お湯はりをする場合、浴そうに残っている湯(水)の量だけ、設定したお湯はりの湯量より多くなります。
設定量までお湯はりしても お湯はりブザーが鳴らない	＊お湯はりブザーは、機器で燃焼したお湯が設定量連続して出ると鳴るしくみです。サーモ付混合水栓の場合、水栓で水を混ぜるので、設定したお湯はり量より水の分だけ多いところでブザーが鳴ります。

故障・異常かな？と思ったら-2

「リモコン」に関すること

運転ランプが点灯しない	＊停電していませんか？ ＊電源プラグが差し込まれていますか？
時計表示が「0：00」になっている	＊停電後、再通電すると表示画面の時計表示が「0：00」になることがあるので、設定しなおしてください。 (☞P10)
停電または電源プラグを抜いた後、給湯温度が変わってしまう	＊停電または電源プラグを抜いた後、再通電すると給湯設定温度がお買い上げ時の設定に変わる場合がありますので設定しなおしてください。
スイッチを押してもそのスイッチの動作をしない (例)運転スイッチを押して「切」にしたはずなのに切れていない　など･･･	<呼び出し以外のスイッチの場合> ＊表示の節電「する」の設定にした場合、表示の節電中にスイッチを1回押すとその状態を解除し、もう1度押すとそのスイッチの機能がはたらきます。 運転「入・切」は、ランプ「点灯・消灯」で確認してください。
表示の節電の状態にならない	＊表示の節電「する」の設定になっていますか？(☞P17) ＊給湯温度を60℃に設定している場合は、表示の節電にはなりません。

「音」に関すること

運転を停止してもしばらくの間ファンの回転音(ブ～ン)がする **運転スイッチを「入・切」したり、給湯栓を開閉したり、機器の使用後しばらくすると、モータが動く音(クックッ、クー、ウィーン)がする**	＊再使用時の点火をより早くするため、また、再使用時にお湯の温度を早く安定させるために機器が作動している音です。故障ではありません。

その他

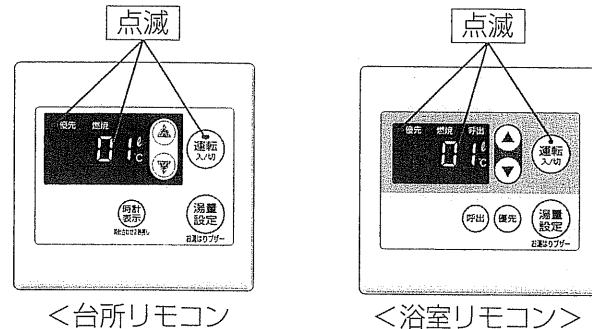
使用中に消火した	＊ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ ＊断水していませんか？ ＊給湯栓は充分開いていますか？ ＊ガスメーター(マイコンメーター)がガスをしゃ断していませんか？ ＊ＬＰガスの場合、ガスがなくなっていませんか？
寒い日に排気口から湯気が出る	＊冬に吐く息が白く見えるように、排気ガス中の水蒸気が白く見えるためです。
お湯が白く濁って見える	＊これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられて、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール・サイダーなどの泡と似た現象であり汚濁とは違い、無害です。
機器の給湯側の水抜き栓(過圧防止安全装置)からお湯(水)が少しの間出ることがある	＊機器内に高い圧力が生じたとき、過圧防止安全装置のはたらきにより、水抜き栓から水滴がおちることがあります。
水が青く見える 浴そうや洗面台が青く変色した	＊水中に含まれるわずかな銅イオンが水中に溶けだして青色の化合物が生成され、水が青く見えたり、浴そうや洗面台が青く変色することがありますが健康上問題ありません。浴そうや洗面台はこまめに掃除することにより、発色しにくくなります。

故障・異常かな？と思ったら-3

故障表示をお調べください

不具合が生じたとき、表示画面に故障表示が点滅します。
下表に応じた処置をしてください。

＜台所リモコン＞

＜浴室リモコン＞

表示	原因	処置
01	給湯を連続60分以上運転したため	給湯栓を閉め、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして使用してください。
11	点火エラーが生じたため	運転スイッチを「切」にし、ガス栓が開いているか、ガスメーター（マイコンメーター）がガスをしゃ断していないか、またはＬＰガスがなくなっていないかを確認して、問題があれば処置してください。 その後運転スイッチを「入」にし、給湯栓を開いて表示が出なければ正常です。

以下の場合は、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください

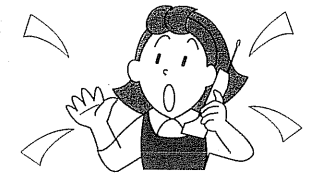
・上記以外の表示（例：61など）が出るとき
・上記の処置をしてもなお表示が繰り返し出るとき
・その他、わからないとき

アフターサービスについて

サービスを依頼されるとき

P23～27の「故障・異常かな？と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

連絡していただきたい内容

品名 …………（機器正面に貼り付けてある銘板または保証書をご覧ください）
お買い上げ日 …（保証書をご覧ください）
異常の状況 ……（故障表示など、できるだけくわしく）
ご住所・ご氏名・電話番号
訪問ご希望日

保証について

別添で保証書がついています。
必ず「販売店名・お買い上げ日等」が記入されているのを確認してください。
保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後10年です。
但し、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。
なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

移設される場合

転居などで機器を移設されるときは、機器（銘板）に表示してあるガスの種類・電源（電圧）が移設先と合っているか必ずご確認ください。
不明のときは、移設先のガス事業者・販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。

ガスの種類の異なる地域へ移設されるときは、機器の改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は、保証期間中でも有料です。

主な仕様

仕様表

24号			
製品名	133-0090型	133-0092型	133-0095型
型式名	YS2456R	YS2456RT	YS2456RM
種類 給湯方式	先止め式		
種類 設置方式	屋外設置形		
点火方式	放電点火式		
水圧 使用水圧〈kPa〉	98.1～981(1.0～10.0kgf/㎠)		
水圧 作動水圧〈kPa〉	9.81(0.1kgf/㎠)		
最低作動流量〈ℓ/分〉	3.5		
外形寸法〈㎜〉	高さ520× 幅350× 奥行170		
質量(本体)〈kg〉	17		
接続口径 給湯	R3/4(20A)		
接続口径 給水	R3/4(20A)		
接続口径 ガス	R1/2(15A)		
電気関係 電源	AC100V(50/60Hz)		
電気関係 消費電力(50/60Hz)〈W〉	48/48	58/58(都市ガス13A) 57/57(LPガス)	
	凍結予防ヒータ 125		
電気関係 待機消費電力〈W〉	運転スイッチ「入」約3.2(省電力モード：約2.8)、「切」約2.6 ＜台所リモコン取付＞		
湯温制御方式	電子式ガス比例弁制御方式		
安全装置	立消え安全装置、空だき安全装置、停電時安全装置、過熱防止装置、過電流防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置、漏電安全装置		

16号			
製品名	133-4120型	133-4122型	133-4125型
型式名	YS1656R	YS1656RT	YS1656RM
種類 給湯方式	先止め式		
種類 設置方式	屋外設置形		
点火方式	放電点火式		
水圧 使用水圧〈kPa〉	98.1～981(1.0～10.0kgf/㎠)		
水圧 作動水圧〈kPa〉	9.81(0.1kgf/㎠)		
最低作動流量〈ℓ/分〉	3.5		
外形寸法〈㎜〉	高さ520× 幅350× 奥行170		
質量(本体)〈kg〉	15		
接続口径 給湯	R1/2(15A)		
接続口径 給水	R1/2(15A)		
接続口径 ガス	R1/2(15A)		
電気関係 電源	AC100V(50/60Hz)		
電気関係 消費電力(50/60Hz)〈W〉	38/38	54/54(都市ガス13A) 51/51(LPガス)	
	凍結予防ヒータ 125		
電気関係 待機消費電力〈W〉	運転スイッチ「入」約3.2(省電力モード：約2.8)、「切」約2.6 ＜台所リモコン取付＞		
湯温制御方式	電子式ガス比例弁制御方式		
安全装置	立消え安全装置、空だき安全装置、停電時安全装置、過熱防止装置、過電流防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置、漏電安全装置		

・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
・出湯能力は湯水混合の計算値です。
　但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

16号			
製品名	133-4130型	133-4132型	133-4135型
型式名	YS1656R	YS1656RT	YS1656RM
種類 給湯方式	先止め式		
種類 設置方式	屋外設置形		
点火方式	放電点火式		
水圧 使用水圧〈kPa〉	98.1～981(1.0～10.0kgf/㎠)		
水圧 作動水圧〈kPa〉	9.81(0.1kgf/㎠)		
最低作動流量〈ℓ/分〉	3.5		
外形寸法〈㎜〉	高さ520× 幅350× 奥行170		
質量(本体)〈kg〉	15		
接続口径 給湯	R1/2(15A)		
接続口径 給水	R1/2(15A)		
接続口径 ガス	R1/2(15A)		
電気関係 電源	AC100V(50/60Hz)		
電気関係 消費電力(50/60Hz)〈W〉	38/38	54/54(都市ガス13A) 51/51(LPガス)	
	凍結予防ヒータ 125		
電気関係 待機消費電力	約2.4W ＜リモコン無し＞		
湯温制御方式	電子式ガス比例弁制御方式		
安全装置	立消え安全装置、空だき安全装置、停電時安全装置、過熱防止装置、過電流防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置、漏電安全装置		

能力表

※製品名は仕様表を参照してください。

24号　型式名　YS2456R, YS2456RT, YS2456RM

使用ガス		1時間当りのガス消費量(最大消費量)	出湯能力(最大時)〈ℓ/分〉	
			水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス〈kW〉	13A	52.3	24	15
LPガス〈kW〉				

16号　型式名　YS1656R, YS1656RT, YS1656RM

使用ガス		1時間当りのガス消費量(最大消費量)	出湯能力(最大時)〈ℓ/分〉	
			水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス〈kW〉	13A	34.9	16	10
LPガス〈kW〉				